

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2002-73538(P2002-73538A)

【公開日】平成14年3月12日(2002.3.12)

【出願番号】特願2000-256130(P2000-256130)

【国際特許分類】

G 06 F	13/38	(2006.01)
H 04 N	5/907	(2006.01)
H 04 N	7/14	(2006.01)
H 04 N	5/765	(2006.01)

【F I】

G 06 F	13/38	3 1 0 F
H 04 N	5/907	B
H 04 N	7/14	
H 04 N	5/91	L

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データの入力、処理、出力をを行うと共に、バスとの間でのデータ転送を行うための一時的な記憶メモリを有し、バス上に接続されるデータ処理回路であって、

前記記憶メモリに格納されているデータ量を検出する検出手段と、

該検出手段で検出したデータ量に応じて、前記データ転送で転送するデータの転送長を調整する調整手段と

を備えることを特徴とするデータ処理回路。

【請求項2】

前記データ処理回路は、バス上に設けられたメモリとデータ通信することを特徴とする請求項1に記載のデータ処理回路。

【請求項3】

前記調整手段は、前記転送長の調整に、前記データ量と前記転送長との対応関係を示すテーブルを用いることを特徴とする請求項1又は2に記載のデータ処理回路。

【請求項4】

前記データ量と前記転送長との対応関係は、プログラムにより可変であることを特徴とする請求項1又は2に記載のデータ処理回路。

【請求項5】

請求項1に記載のデータ処理回路を複数備えることを特徴とする電子機器。

【請求項6】 複数の動作モードを備える請求項5に記載の電子機器であって、

前記複数の動作モードのうち、使用する動作モードを選択する選択手段を備えることを特徴とする電子機器。

【請求項7】

前記データ処理回路には、

撮像し、デジタルデータに変換するキャプチャ回路、

撮像した画像データに対する編集処理を行う画像処理回路、
表示を行う表示回路
が含まれることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の電子機器。

【請求項 8】

更に、前記データ処理回路として、回線を介して通信する通信回路を備えることを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 9】

データの入力、処理、出力をを行うと共に、バスとの間でのデータ転送を行うための一時的な記憶メモリを有し、バス上に接続されるデータ処理回路の制御方法であって、

前記記憶メモリに格納されているデータ量を検出する検出工程と、

該検出工程で検出したデータ量に応じて、前記データ転送で転送するデータの転送長を調整する調整工程と

を備えることを特徴とするデータ処理回路の制御方法。

【請求項 10】 請求項 1 に記載のデータ処理回路を複数備えることを特徴とする電子機器の制御方法。